

令和 7 年度 長岡小学校職員室等空調機更新工事

図 面 目 次		
No.	図 面 内 容	縮 尺
M-00	表紙・図面目次	—
M-01	特記仕様書（1）	—
M-02	特記仕様書（2）	—
M-03	特記仕様書（3）	—
M-04	特記仕様書（4）	—
M-05	配置図・付近見取図・工事概要	1/1,000
M-06	空調設備 機器リスト（改修前・改修後）	—
M-07	空調設備 1 階平面図（改修前・改修後）	1/200
E-01	電気設備 特記仕様書	—
E-02	電気設備 機材指定表	—
E-03	電気設備 1 階平面図（改修前・改修後）	1/200

特 記 仕 様 書 （ 1 ）

工事名称	長岡小学校職員室等空調機更新工事
設計年度（設計図）	令和 年度
工事期間（完成図）	令和 年 月 日～令和 年 月 日
工事場所	高知県南国市下末松97

棟名	構造	階数	延床面積（㎡）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
校舎棟	R C造	3			
		戸数			
		1			

共通事項		特 記 仕 様（※及び●印をつけたものを適用する）																																																																				
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」（改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 令和4年版）」による。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※ 国土交通省仕様 （例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所で、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。）																																																																				
	スリーブ	● 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様 ※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」（建設大臣官房官庁営繕部監修） によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版）による。 建物の種別： ● 特定の施設 ○ 一般の施設 地域係数： 1. 0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 重要機器 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1／2とする。																																																																				
	機器類 区画貫通処理 耐震措置																																																																					
	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注）ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。（県標準図16） ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震スツパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。																																																																				
	配管の支持																																																																					
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表 <table><tr><td>流体種別</td><td colspan="4">給水</td><td colspan="3">給湯</td><td colspan="3">冷温水</td></tr><tr><td>管材等種別</td><td>ステンパイ管</td><td>ライニング管</td><td>水栓金具</td><td>弁類</td><td>ステンパイ管</td><td>ライニング管</td><td>弁類</td><td>ステンパイ管</td><td>ライニング管</td><td>銅管</td><td>弁類</td></tr><tr><td>テープシール材</td><td>(イ)</td><td></td><td>(イ)</td><td></td><td>(イ)</td><td></td><td>(イ)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ペーストシール剤</td><td>(ロ)</td><td></td><td></td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td></td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td></td><td></td><td>(ロ)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(ハ)</td><td></td><td></td><td></td><td>(ハ)</td><td></td><td></td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td></td></tr></table>										流体種別	給水				給湯			冷温水			管材等種別	ステンパイ管	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンパイ管	ライニング管	弁類	ステンパイ管	ライニング管	銅管	弁類	テープシール材	(イ)		(イ)		(イ)		(イ)					ペーストシール剤	(ロ)			(ロ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)			(ロ)			(ハ)				(ハ)			(ハ)	(ハ)	
	流体種別	給水				給湯			冷温水																																																													
	管材等種別	ステンパイ管	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンパイ管	ライニング管	弁類	ステンパイ管	ライニング管	銅管	弁類																																																										
	テープシール材	(イ)		(イ)		(イ)		(イ)																																																														
	ペーストシール剤	(ロ)			(ロ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)			(ロ)																																																										
		(ハ)				(ハ)			(ハ)	(ハ)																																																												
(テープシール材)	※ (イ) テープシール材は、JIS K 6885（シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ（生テープ））によるものとする。 注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。																																																																					
(ペーストシール剤)	※ (ロ) 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※ (ハ) 給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。 注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ） （例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など） ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ） （例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメテックNo. A0-9など）																																																																					
弁類 サヤ管工法 埋設深さ（管上） 埋設管の保護	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。 ※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。） ○ 一般敷地300mm以上 ○ 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ○ 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※ 石綿含有分析調査 ○本工事 ○別途 ●無し アスベスト含有品（ガasket、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。																																																																					
石綿含有品																																																																						
建設発生土の処理	※ 構外搬出 処理場所（ ）所在地（ ）距離（ ）km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ○ 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積																																																																					
建設副産物	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生クラッシャーランを使用する。（アスファルト再生品混じりは不可） ※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。																																																																					
コンクリート工事／骨材 はつり・非破壊検査	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。） ○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 騒音の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定																																																																					
総合調整	● 配管施工（配管工事） ○ 熱絶縁施工（保温工事） ○ 建築板金施工（ダクト製作及び取付） ○ 冷凍空調調和機器施工 ○ その他 完成図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ（PDF形式） ※ 2ツ折りA4版製本 1部 ※ 2ツ折りA3版製本 1部 施工図 ○ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ○ 画像データ（PDF形式） ○ 2ツ折り製本（サイズは原図による） 工事管理資料（写し） ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類 ○ マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ○ 掃除口ハンドル ○																																																																					
完成後の提出物																																																																						
●（揮発性有機化合物）対策 室内空気汚染	対象建築材料等		使用制限																																																																			
	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、 単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材		F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。																																																																			
	② 塗料		ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。																																																																			
	③ 木材保存剤（防虫処理、防蟻処理等）		クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防虫・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。																																																																			
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤		1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする。 2）フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																																																																			
	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台		①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料（上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。																																																																			

配管材料	①	配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】（JIS G 3452）	㉑	ポリブデン管 （JIS K 6778）						
	②	配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】（JIS G 3452）	㉒	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】（WSP 042）						
	③	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】（JWWA K 116・WSP 011）	㉓	排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 （WSP 032）						
	④	水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】（JWWA K 116）	㉔	排水用鑄鉄管 【メカニカル形2種管】（JIS G 5525）						
	⑤	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】（JWWA K 132・WSP 039）	㉕	鉛管（HASS 203）						
	⑥	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】（WSP 041）	㉖	硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】（JIS K 6741）						
	⑦	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】（JWWA K 140）	㉗	硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】（JIS K 6741）						
	⑧	一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】（JIS G 3448）	㉘	排水・通気用耐火二層管 【内管VP】						
	⑨	配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】（JIS G 3459）・・・60A以下は拡管式	㉙	卵形管 【ゴムリング】（JAWAS K-3）						
	⑩	水道用ダクタイル鑄鉄管 【3種管】（JWWA G 113）	㉚	プレキャスト鉄筋コンクリート製品 （JIS A 5372） ヒューム管						
	⑪	銅管 【M】（JIS H 3300）	㉛	硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】（JIS G 3452原管）白						
	⑫	外面被覆銅管 【M】（JIS H 3330） 給湯	㉜	ガス用ポリエチレン管（JIS K 6774）						
	⑬	耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】（JIS K 6776）	㉝	ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管（JIS G 4305）によりガス用に製造されたもの】						
	⑭	水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】（JIS K 6742）	㉞	断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】（JCDA 0009） 冷媒						
	⑮	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】（JIS K 6742）	㉟	屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）						
	⑯	水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】（JWWA K 127）	㊱	空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）						
	⑰	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】（JWWA K 129）	㊲							
	⑱	水道用ポリエチレン二層管 （JIS K 6762）	㊳	-						
	⑲	水道配水用ポリエチレン管 （JWWA K 144）	㊴	-						
	⑳	架橋ポリエチレン管 （JIS K 6769）	㊵	-						
管種使用区分	工種	場所	屋内一般	屋内ビット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空		
	給水（直圧）									
	給水（一般）									
	汚水								※125A以上の地中埋設は ㉗ とする。	
	雑排水								※125A以上の地中埋設は ㉗ とする。	
	通気									
	ガス									
	消火									
	給湯									
	器具接続									
	冷温水									
	冷却水									
	中水									
	冷媒		㉜					㉜		
	空調ドレン		㉞					㉞		
	塗装・防食	※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理（エッチングプライマ）を施す。 ※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ※ 土中埋設する鑄鉄管、鑄鉄異形管（メカ型継手共）及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。 ○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。 ※ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。 屋外： ●ドレン管（指定色塗装） ●金属電線管（指定色塗装） 屋内： ○ダクト（指定色塗装） ●金属電線管（指定色塗装） ○フード類（指定色塗装）								
工種		場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗室内	屋外露出	屋外埋設	備 考	
給水			a2()Ⅶ	b()Ⅶ	c2()Ⅶ	d()Ⅶ	e2()Ⅶ	()		
排水・空調ドレン			a()Ⅶ	b()Ⅶ	c2()Ⅶ					
給湯			a()Ⅰ	b()Ⅰ	c2()Ⅰ	d()Ⅰ	e2()Ⅰ			
冷水・冷温水管			A()Ⅲ	B()Ⅲ	C1()Ⅲ	D()Ⅲ	E2()Ⅲ			
冷媒管			(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+(ル)			
矩形ダクト			J1()X1	I()X1	I()X1		K2()X1			
スパイラルダクト			O1()X1	N()X1	N()X1		P2()X1			
(イ)ロックウール保温材			(ニ)簡易保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm			(ヌ)ガルバリウム鋼板			
(ロ)グラスウール保温材			(ホ)簡易保温筒20mm	(チ)冷媒用被覆鋼管			(ル)カラーガルバリウム鋼板			
(ハ)ポリスチレンホーム保温材			(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(リ)SUSラッキング			(ヲ)ー			
● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。										
表示		※ 配管表記 ①機械室・ビット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 ※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ベンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。 ※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。（県標準図13） ※ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。） ※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。 ※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示紙（標示柱は県標準図8）を設ける。 ※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。（排水・通気管を除く）								
	○ 引渡しを要するもの（ ）									
	○ 現場において再利用を図るもの（ ）									
	※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。									
	※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書（共通編）による。									
	発生材の処理									
	 株式会社 シグマ設備設計室 高知市中秦泉寺42番地 TEL (088) 855-6005 FAX (088) 855-6015 一級建築士事務所（高知県）登録第1232号 一級建築士登録第385176号 浅井 佳苗									

	株式会社	シグマ設備設計室						図面No.
	高知市中秦泉寺42番地 一級建築士事務所（高知県） 登録第1232号	TEL (088) 855-6005 FAX (088) 855-6015 一級建築士登録第385176号 浅井 佳苗	－				2025・05	(特記) 02 M-01

特記仕様書（2）

Ⅱ 工事種目																																															
○ 衛生器具設備	取付位置	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）																																													
	大便器	※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1） ※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。																																													
	化粧鏡	※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、表面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。																																													
	流量調整	※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒																																													
	洗濯機パン シール（コーキング）	※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ○ 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。																																													
		<table><tr><th></th><th colspan="2">設置場所の床が湿式（防水）</th><th colspan="2">設置場所の床が乾式（非防水）</th></tr><tr><th>機器種別</th><th>壁</th><th>床</th><th>壁</th><th>床</th></tr><tr><td>洋風便器</td><td>—</td><td>不</td><td>—</td><td>不</td></tr><tr><td>洗面器類</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>—</td></tr><tr><td>掃除流し</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯流し</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯パン</td><td>—</td><td>—</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>ステンレス流し台</td><td>要</td><td>不</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>不</td><td>—</td><td>要</td><td>—</td></tr></table> 壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。		設置場所の床が湿式（防水）		設置場所の床が乾式（非防水）		機器種別	壁	床	壁	床	洋風便器	—	不	—	不	洗面器類	不	—	要	—	掃除流し	不	—	要	不	洗濯流し	不	—	要	不	洗濯パン	—	—	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧棚	不	—	要	—
	設置場所の床が湿式（防水）		設置場所の床が乾式（非防水）																																												
機器種別	壁	床	壁	床																																											
洋風便器	—	不	—	不																																											
洗面器類	不	—	要	—																																											
掃除流し	不	—	要	不																																											
洗濯流し	不	—	要	不																																											
洗濯パン	—	—	要	不																																											
ステンレス流し台	要	不	要	不																																											
化粧棚	不	—	要	—																																											
○ 給水設備	負担金 弁類	● 不要 ○ 要（ ） ※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ※ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング） ※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製 F 付き内面ライニング弁5K																																													
	継手類	※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ T Sバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。																																													
	バルブボックス 隠蔽部の保温	※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。 ※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要																																													
	既設給水鋼管への接続	※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用）にて処置する。ただし、コアー体型管端防食タイプソケットRC-LA型樹リケンを使用する場合は処理不要とする。）																																													
	水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。 ※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。 ○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（ ケ所）とする。																																													
○ 排水設備	保護砂 砂利	○ 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。																																													
	樹脂製排水樹 衛生器具等の接続	※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。 ○ 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）																																													
	排水管の防露 排水管の試験等 その他	※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管一不要 ○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認 ※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共仕区画に適合する処理を施す。																																													
○ 消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は（○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様） ○ 共仕区画の消防検査受検必要																																													
○ 給湯設備	弁類	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K																																													
	絶縁対策	※ 鋼管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 銅板製ボイラー及び鋼管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。																																													
	給湯管の保温	※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆鋼管の継手カバーは保温付きのものを使用する。																																													
	大気汚染対策	※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。																																													
○ ガス設備	ガス集合装置 給湯器用止水弁 その他	※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。 ※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。 ※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。																																													
	種汚泥 試運転調整	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。 ※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工一親況の注意事項を申し送ること。																																													
○ 浄化槽設備	その他	※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備																																													

●空気調和・換気設備	空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。 ※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。 ○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） 1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 2）野縁受のね出しが300mm以上の場合は、増し吊り設ける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びブストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング（溶融アルミニウムー亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理） （フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。）
	パッケージエアコン等	○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品） ○ ※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンバー・吸込口チャンバー・レターンチャンバーは25mm厚、サブライチャンバーは50mm厚）とし、ガラスクロス押えとする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 （参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。）
	自動空気抜き弁装置 冷媒配管のラッキング	※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。） ※ 表示窓の付いたりモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
	ダクト 消音内貼り	※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。 ※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。 ※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
	厨房等の排気フード	○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○ ○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ ブロバンポンベ庫 ○
	送風機(大型) エアコン類の電気工事	
○別工事	防振ハンガー 耐震対策措置 機器付属の制御盤 大気汚染対策	

Ⅲ 材 料 メーカー 表	
材 料	材 料 メ ー カ ー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P水槽	三菱、日立、積水 ブリヂストンを削除
うず巻ポンプ	荏原、日立、㊞㊞、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、㊞㊞、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、㊞㊞、川本、鶴見、新明和
電気温水器	三菱電機、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な 取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第（ ）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 せ 事 項				確 認 日
給 水						令和 年 月 日
排 水						令和 年 月 日
消 防						令和 年 月 日
浄 化 槽						令和 年 月 日
ガ ス						令和 年 月 日
そ の 他						令和 年 月 日

	株式会社	シグマ設備設計室	縮尺	作図	担当	検印	設計日付	図面N o
			－		島崎久	浅井	2025・05	（特記）03 M-02

県標準図 5	流し廻り・水栓柱・止水栓ボックス	作 図 平成30年 6月
---------------	-------------------------	-----------------

混合水洗
 流しシンクセンターより100mm水切り側へ
 (デッキタイプの場合、センター)

配管ボックス

止水栓

排水金物
 (下部ベニヤ排水管直通は詳細図による。)

ビューズガスコック
 (ガス台+100H)

※ 瞬間湯沸器等がある場合は上部の棚、水切「イ」
 照明器具、換気扇等注意到注意して納めること。

流し部分平面図

配管周囲コーキング

ビニールシート貼付(やむを得ない場合)

流し下開口補修方法詳細図

(穴があきすぎた場合の補修方法)

SUS製バンドにて固定

モルタル詰め

周囲が土の場合

φ40GV以下 B0XB1-1

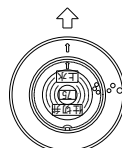
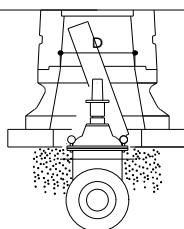
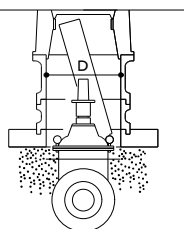
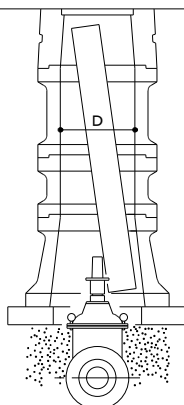
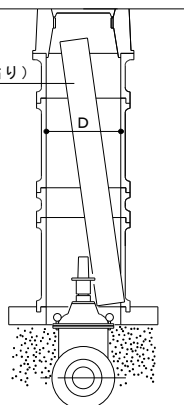
GL

設置年月・サイズ・系統名を書いたアクリル板
 (文字はペン書きまたは、
 カッティングシート)

φ40A以下 φ150コンクリート管

水栓柱の固定方法(後が壁の場合)

パルプB0X(φ40A以下の場合)

標準図 6	制水弁（仕切弁）ボックス（50～150A）	作図 平成28年 6月
1. 車道用鉄蓋・組立式B×X（T-25）。 2. 鉄蓋は、蓋・受弁カラー表示、水流方向・口径表示、口環付付。 3. 必要により高さ及び路面勾配調整のための専用調整リングを使用する。 4. 管上高さ、弁サイズによりB×X組み合わせを設定する。内径Dは250以上。 5. 下図鉄蓋図柄及びB×X形状は参考。 6. ボックス内には設置年月・サイズ・系統名を明記したアクリルプレートを設置すること。 7. ボックス内にはけるプレートにはペンキ書きまたはカッティングシートとすること。 8. 蓋の据付け方向には注意のこと。		
緑間コンクリート製の例 （黒竹、ダイヤモンド） ハイゼット、レジコンクリート製の例 （目出、ダイヤモンド）		
 		
GL  管上 600H GL  管上 600H		
GL  管上 1200H GL 系統名アクリル板 （文字書きはペンキ 又はカッティングシート貼り）  管上 1200H		

標準図 7	樹脂製インポート樹（ビニマス）・防護蓋	製作 平成28年 8月
-------	---------------------	----------------

防護蓋の設置高さはアスファルトやコンクリートでは土部より合わせとしますが、土や砂利等の場合は事前に仕上げ高さを確認しておく。

防臭キャップの取付高さは製造者の指定された高さとし、立ち上りパイプ内部に土などが入りやすく、臭が閉まる高さとする。
(Maezawa・アロンマス・タキロン)

立ち上りパイプは水平な切り口とし、バリを除去して防臭パッキンを機能させる。

ビニマスの下流部にV.P配管で接続する時はV.P交換ソケットを使用して、よりの段差なく接続する。

ビニマスの差し込み部に挿入して、隙間は最小限とする。

ビニマス内に付着した接着剤等は除去する。

※ ビニマス周囲の保護砂は管上100まで埋め戻す。

樹脂製インポート樹の施工における主な注意点

標準図 8

コンクリート標示柱

作図
平成28年 6月

矢印及び溝部は指定色 (マンセキ値)	
給水管	10B 5/10
消火管	7.5R 4/14
ガス管	7.5Y 9/12
オイル管	

標準図 1 3
パッケージエアコンの施工
製作
平成29年 5月

- ①機器の取り付けは、取付金具の下部ダブルナット・増締め後チェック用マーキングとする。
- ②室内機付属のフレキシブルホースは機器の直近に設ける。
- ③ドレン管の立上り部には吊り止めを必ず設ける。
- ④ドレン管通過用、立上下流側には除排水口を設ける。
- ⑤塩ビ製ドレン管の支持間隔は1m以内とする。（注：排水管の支持間隔）
- ⑥ドレン管の立上り高さは製造業者の仕様とする。
- ⑦冷媒配管の支持間隔は基準外径9.5mm以下の場合1.5m以下、12.7mm以上の場合は2.0m以下とする。
- ⑧冷媒管の保護管または、市販の保護用保護プレートを設置する。
- ⑨点検口は、機器へのドレン管接続部近辺に設ける。
- ⑩耐震用の振れ止めに設ける金ねじボルトはボルト・ナットにて強固に取り付けること。

天カセエアコン室内機の施工における主な注意点

- ①地震等の大きな揺れで天井ボードが破損され、取付金具が持ち上がり外れて落下しない対策を
- ②ドレンアップ機能の付いていないドレン配管は、室内機直近で立ち下げる。

天つりエアコン室内機の施工における主な注意点

文字書きはCuttingシート切抜き文字とする。

エアコン室内外機等の表記

製作
令和 2年 6月

県標準図 1 4

制気口及びチャンパの施工 防振ゴムハンガーの設置

特に、クリールルーム・収蔵庫・恒温恒湿室等特に気密性を要するに、制気口を設ける場合は、下記の点に注意する。

【注意点】

- ① 制気口とボックスの繋ぎの単管にはガラスワールを下側まで施工する。（結露対策）
- ② 繋ぎの単管と天井の間から供給空気が天井裏に漏れる空気を最小とする。（性能向上）
- ③ 建築工事の天井仕上げ貼りに支障がないように考慮する。（兼取対策）

【問題点】

- ① 制気口の周間は、天井の開口廻し筋が狭く、天井開口をあまり大きくすることが出来ず、繋ぎ単管の熱線結露が下から施工不能。
- ② 繋ぎ単管を天井仕上げ貼り下地まで下げる、と、天井の仕上げ貼りが一面で施工が出来ない。
- ③ 天井貼り完了後、ＢＯＸ内吊ボルト以外は繋ぎ単管の高さ調整が出来ない。

【以上の問題点について解決策例】天井二重張りの場合

- ① 天井捨て張りの前に、繋ぎ単管の下地を、天井捨て張り強の高さまで調整をしておく。
- ② 建築工事にて、捨て貼りを繋ぎ単管寸法+50mmの開口寸法で施工する。
- ③ 建築工事にて、仕上げ貼りを天井全面貼り。
- ④ 機械設備工事にて繋ぎ単管寸法+5mmにて開口する。
- ⑤ 機械設備工事にて制気口取付する。

制気口及びチャンパの施工

防振ゴムハンガーを設置する場合は、脱着防止を考慮しダブルナットとする。

防振ゴムハンガーの設置

製作
令和 2年 6月

標準図 1 5 設備耐震対策措置

(機能確保を図る標準的な対策)

- ・ $a + b$ が 25cm 以下は斜材不要。
- ・ $a + b$ が 25～30cm は、鉛直吊り長さが 25cm 以内になる斜材が、鉛直つりボルトを 12φ にする。
- ・ $a + b$ が 30cm を超える場合は、鉛直つり長さが 25cm 以内になる斜材が必要。

① 全ねじボルト X 状の据付け法

- ・ b が 25cm 以下は斜材不要。
- ・ b が 25～30cm は、鉛直吊り長さが 25cm 以内になる斜材が鉛直つりボルトを 12φ にする。
- ・ b が 30cm を超える場合は、鉛直つり長さが 25cm 以内になる斜材が必要。

② 形鋼製架台の据付け法

③ 全ねじボルト放射状の据付け法

(機能確保を重視した対策)

- ・ b が 20cm 以下は斜材不要。
- ・ b が 20～25cm は、鉛直吊り長さが 20cm 以内になる斜材が鉛直つりボルトを 12φ にする。
- ・ b が 25cm を超える場合は、鉛直つり長さが 20cm 以内になる斜材が必要。

① 鋼製架台を用いた場合の横揺れ防止

- ・ b が 20cm 以下は斜材不要。
- ・ b が 20～25cm は、鉛直吊り長さが 20cm 以内になる斜材が鉛直つりボルトを 12φ にする。
- ・ b が 25cm を超える場合は、鉛直つり長さが 20cm 以内になる斜材が必要。

② 全ねじボルトを用いた場合の横揺れ防止

公益社団法人 空気調和・衛生工学会
『建築設備の耐震設計 施工法』より

注) 防振装置の設置は機器リストや図面内の特記による。

県標準図 1 6	金属系アンカー	製作 令和 2 年 6 月
----------	---------	------------------

スリーブ打込み式
(おねじタイプ)

ウェッジ式
(おねじタイプ)

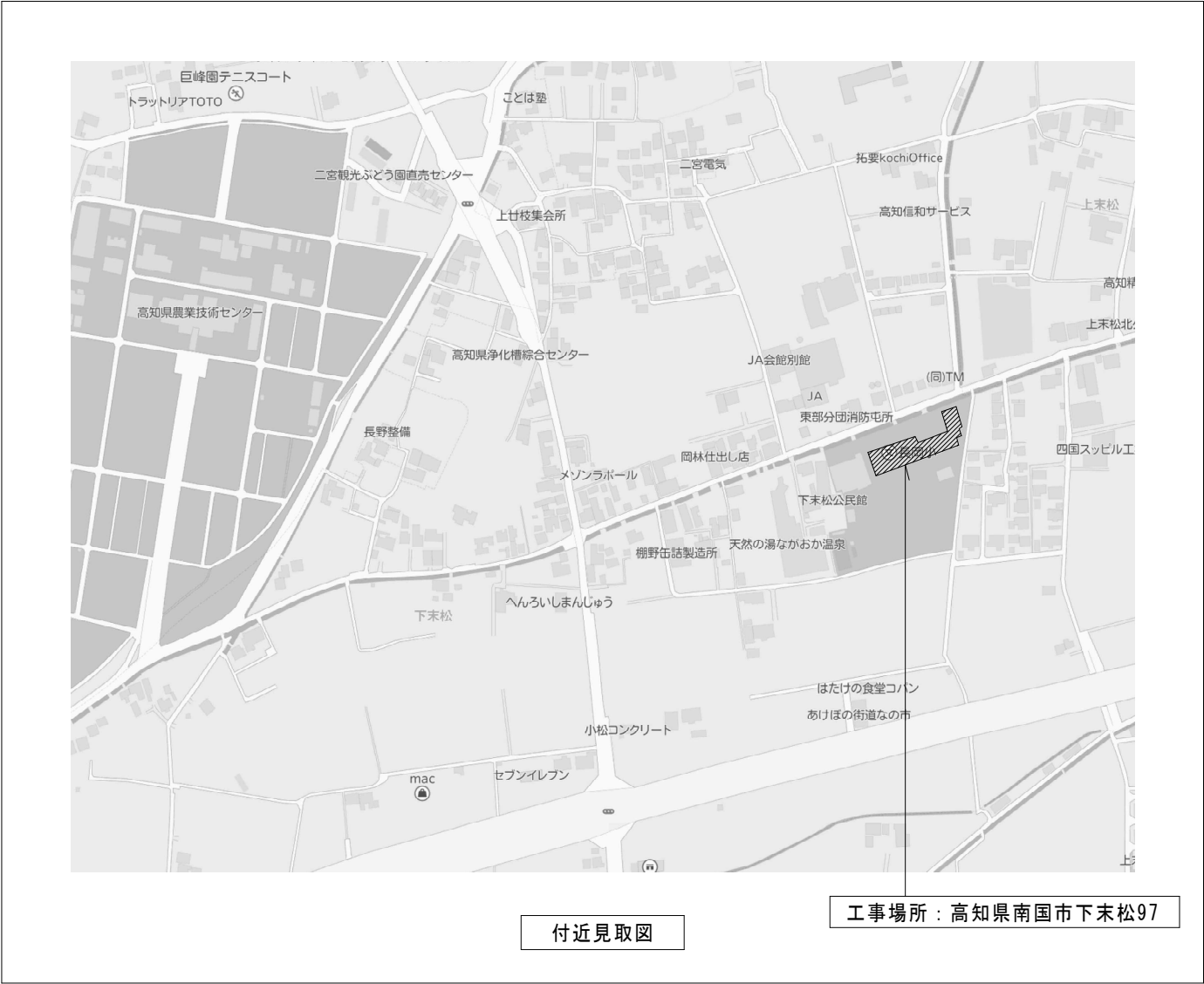
機器の固定に使用する金属系アンカー

※ ポンベハウスの固定アンカーに関する注意点 (部分抜粋)

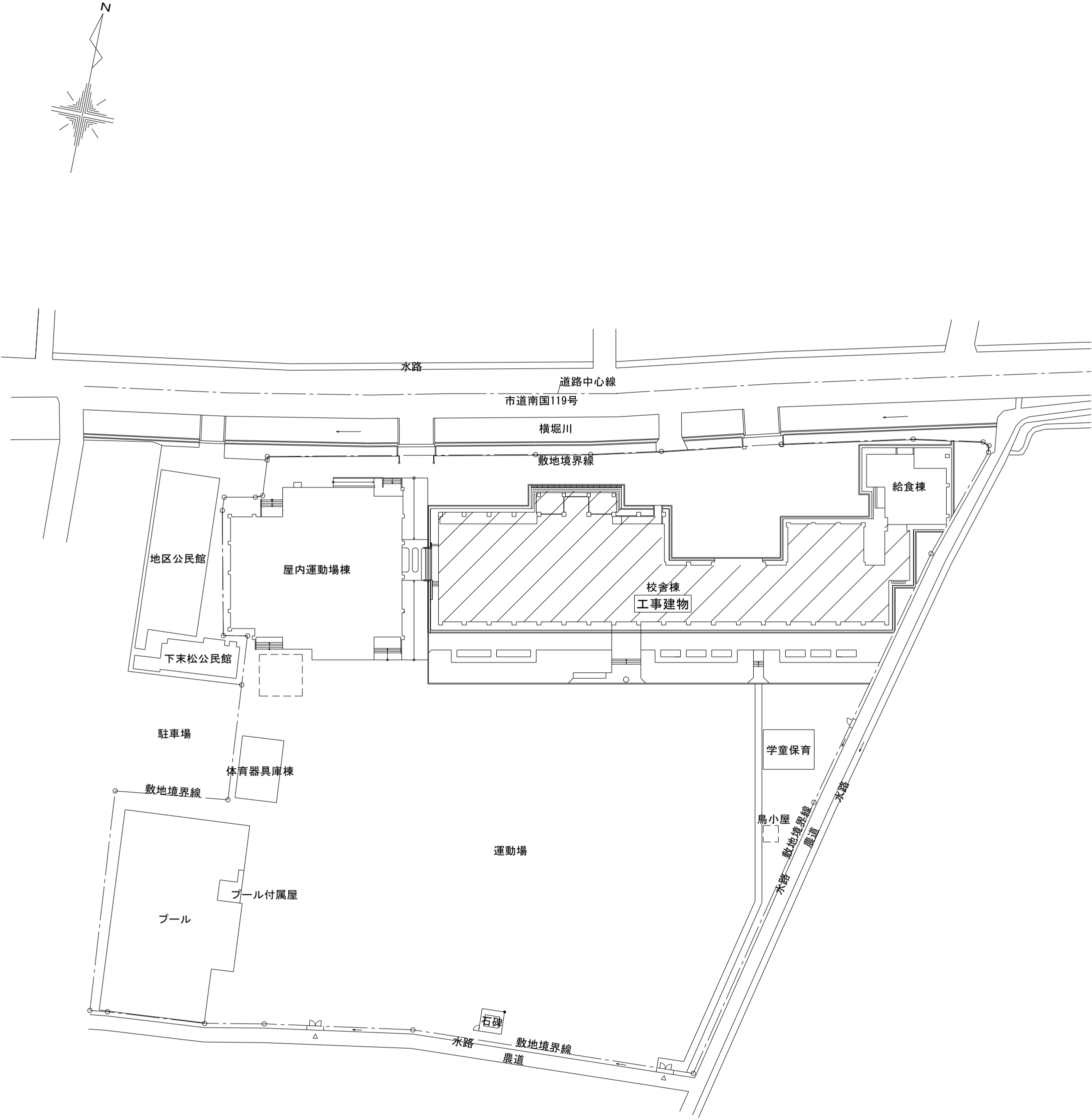
アンカーボルトの穴は、深度80mmとしてコンクリートドリル刃外径16.5mmを使用し、水平なコンクリート基礎の上に設置します。

ポンベハウスの主台を付属品の後施工アンカー（テーパーボルト式アンカー-外径16mm 溶融亜鉛めっき）にて止めてください。

ポンベハウスの固定に使用する金属系アンカー



工事概要
・1階視聴覚室（1台）、校長室（1台）、保健室（1台）、職員室（2台）の空調機更新。
・更新機は1階職員室内の既設集中リモコンに接続する。
※既存リモコン以外のメーカーの場合、別途集中リモコンが必要



配置図 S=1/1000

記事		 株式会社 シグマ 設備設計室 高知市中秦泉寺42 TEL (088) 855-6005 FAX (088) 855-6015 一級建築士事務所（高知県）登録第1232号 一級建築士登録第385176号 浅井 佳苗		工事名	長岡小学校職員室等空調機更新工事	図面内容	配置図・付近見取図・工事概要	縮尺	作図	担当	検印	設計日付	図面No.
								1/1,000 (A2枠)	島崎久	浅井		2025・05	M-05

(A3は70%出力)

機器リスト（改修前、撤去）							
記 号	名 称	機器仕様	電源 φ-V	消費電力 kW	台数	設置場所	備 考
AC 1	空冷HPパッケージエアコン	天吊形 冷媒：R22×2.3kg	3-200	C:1.52	1	1階 校長室	サヨ-
		能力 C:4.5kW、H:5.0kW		H:2.92			SPW-CH45R
		圧縮機出力：1.70kW					
		冷媒管：φ6.35×φ12.7					
		ドレン管：VP25					
		屋外機据付 コンクリートブロック+転倒防止金物					
		屋内機 寸法：190H×1080×670 重量：25kg					
	屋外機 寸法：730H×940×340 重量：49kg						
AC 2	空冷HPパッケージエアコン	天吊形 冷媒：R22×3.7kg	3-200	C:3.19	2	1階 職員室×2	サヨ-
		能力 C:8.0kW、H:9.0kW		H:3.33			SPW-CH71R
		圧縮機出力：2.20kW					
		冷媒管：φ6.35×φ15.88					
		ドレン管：VP25					
		屋外機据付 コンクリートブロック+転倒防止金物					
		屋内機 寸法：190H×1300×670 重量：29kg					
	屋外機 寸法：930H×940×340 重量：73kg						
AC 3	空冷HPパッケージエアコン	天吊形 冷媒：R22×4.5kg	3-200	C:4.07	2	1階 保健室 ×1	サヨ-
		能力 C:10.0kW、H:11.2kW		H:4.29		視聴覚室×1	SPW-CH100R
		圧縮機出力：2.40kW					
		冷媒管：φ9.52×φ19.05					
		ドレン管：VP25					
		屋外機据付 コンクリートブロック+転倒防止金物					
		屋内機 寸法：240H×1575×670 重量：38kg					
	屋外機 寸法：1230H×940×340 重量：105kg						

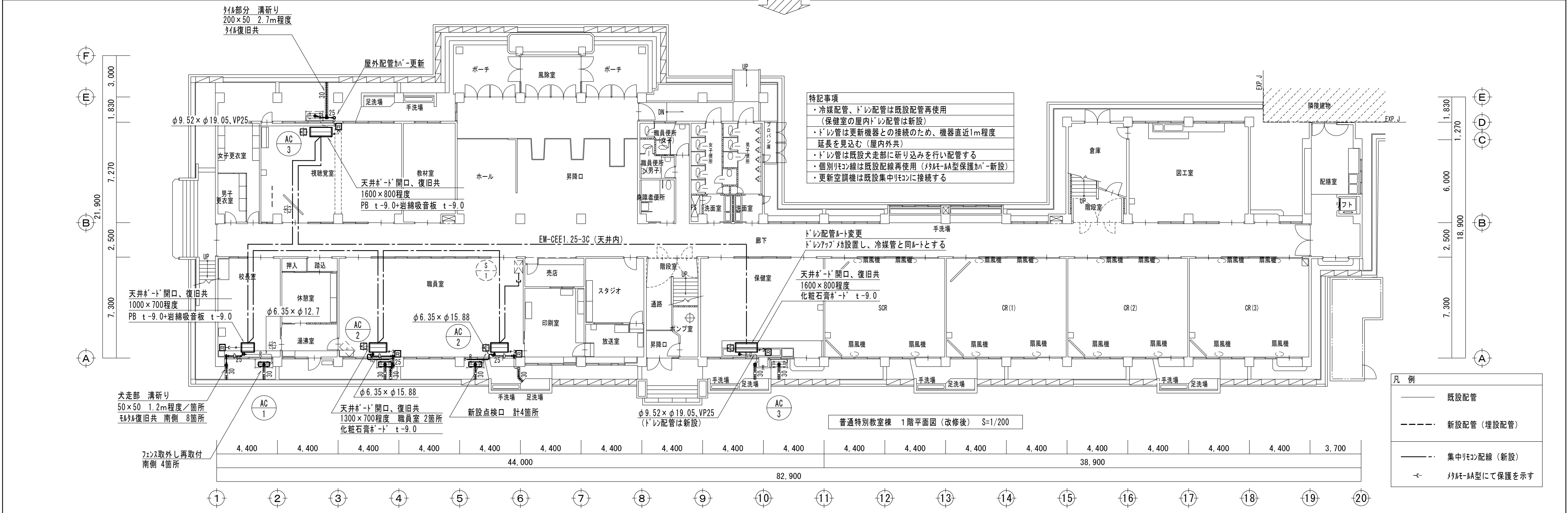
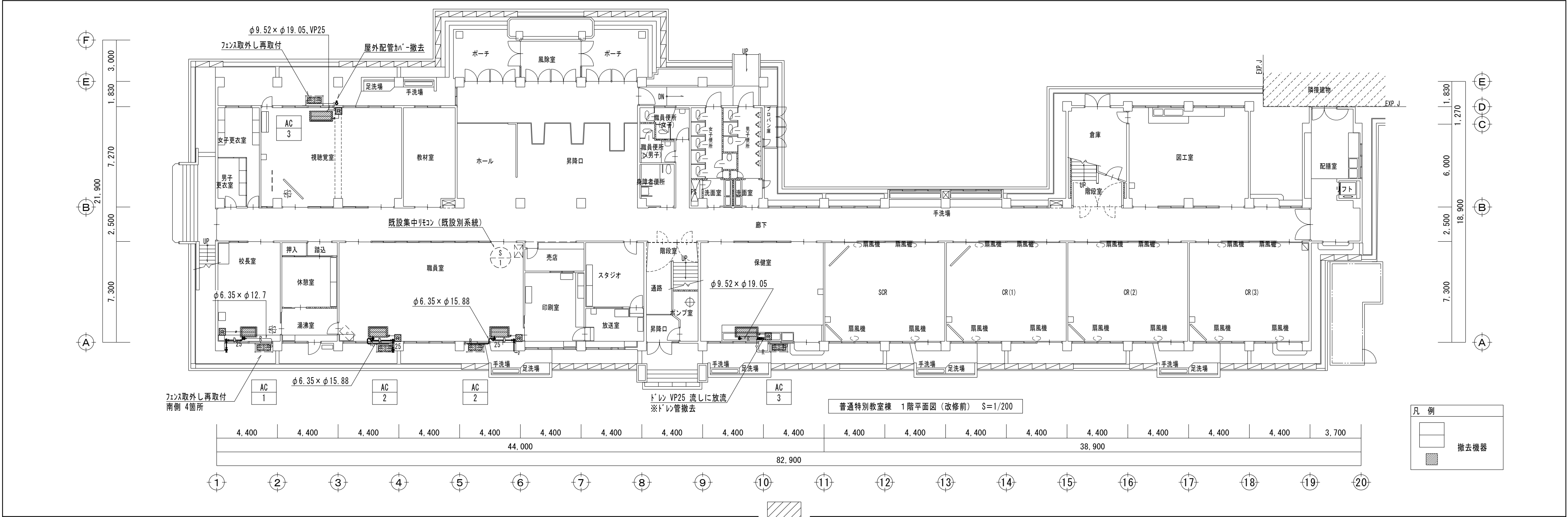


機器リスト（改修後）							
記 号	名 称	機器仕様	電源 φ-V	消費電力 kW	台数	設置場所	備 考
AC 1	空冷HPパッケージエアコン	天吊形 冷媒：R32 APF：5.7以上	1-200	C:1.10	1	1階 校長室	参考品番
	屋外機標準塗装	能力 C:4.5kW（～5.0kW）、H:5.0kW（～6.6kW）		H:1.22			PCZ-ZRMP50SK5
		圧縮機出力：0.80kW					
		冷媒管：φ6.35×φ12.7					
		ドレン管：VP25					
		ワイヤードリモン、防護ネット（細目）、集中排水ドレンパン					
		屋内機 振れ止め金物+防振ハンガー					
		屋外機 コンクリートブロック（アンカー付）+防振ゴム10t +転倒防止金物（SUS）					
AC 2	空冷HPパッケージエアコン	天吊形 冷媒：R32 APF：5.5以上	3-200	C:2.03	2	1階 職員室×2	参考品番
	屋外機標準塗装	能力 C:7.1kW（～8.0kW）、H:8.0kW（～10.8kW）		H:2.31			PCZ-ZRMP80K5
		圧縮機出力：1.60kW					
		冷媒管：φ9.52×φ15.88					
		ドレン管：VP25					
		ワイヤードリモン、防護ネット（細目）、集中排水ドレンパン					
		屋内機 振れ止め金物+防振ハンガー					
		屋外機 コンクリートブロック（アンカー付）+防振ゴム10t +転倒防止金物（SUS）					
AC 3	空冷HPパッケージエアコン	天吊形 冷媒：R32 APF：5.5以上	3-200	C:2.55	2	1階 保健室 ×1	参考品番
	屋外機標準塗装	能力 C:10.0kW（～11.2kW）、H:11.2kW（～14.0kW）		H:2.78		視聴覚室×1	PCZ-ZRMP112K5
		圧縮機出力：2.10kW					
		冷媒管：φ9.52×φ15.88					※既設配管 （φ9.52×φ19.05）
		ドレン管：VP25					
		ワイヤードリモン、防護ネット（細目）、集中排水ドレンパン （保健室のみ）ドレンアップ材					
		屋内機 振れ止め金物+防振ハンガー					
		屋外機 コンクリートブロック（アンカー付）+防振ゴム10t +転倒防止金物（SUS）					

S 1	既設集中リモコン	タッチパネル式			1	1階 職員室	三菱電機
		個別・一括制御、状態表示					PAC-SF50AT2
		スケジュール機能付					
		伝送用給電ユニット（PAC-SC51KU）					

特記事項	
機 器	・空調機器の仕様は国土交通省仕様とする。
	・グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号）の判断基準適合品とする。
冷媒配管	・冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されていない機種とする。
	・冷媒配管はペフロイルとする。
ドレン配管	・屋内空調ドレン配管は保温材付ドレンパイプとする。
	・屋外空調ドレン配管は保温、塗装共に不要とする。
配管外装	・屋内露出配管は保温化粧カバー（スリムタイプ等）とする。
	・屋外露出配管の外装はガルバリウムメッキとする。
そ の 他	・既設冷媒配管、ドレン配管は既設再使用とする。
	・既設屋内外電源渡り線、リモコン配線は既設再使用とする。
	・冷媒回収・破壊処理を適切に行うこと（R-22×18.7kg）。

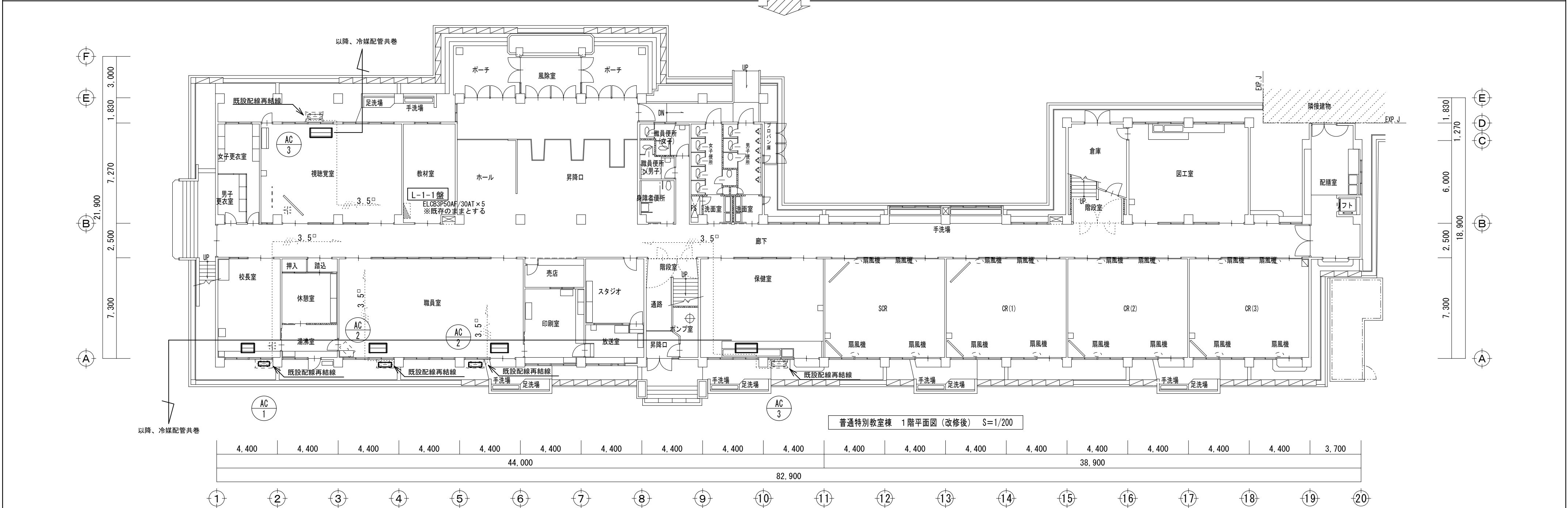
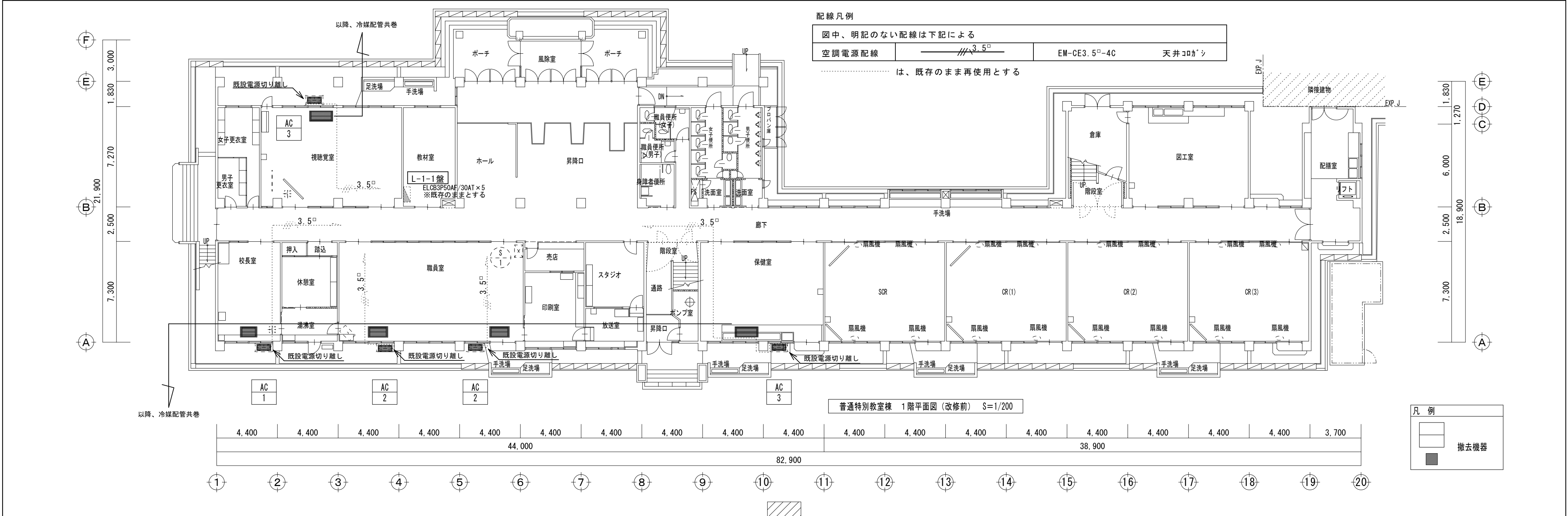
（A3は70%出力）



記事	株式会社 シグマ 設備設計室 高知市中秦泉寺42 TEL (088) 855-6005 FAX (088) 855-6015 一級建築士事務所 (高知県) 登録第1232号 一級建築士登録第385176号 浅井 佳苗	工事名	長岡小学校職員室等空調機更新工事	図面内容	空調設備	縮尺	作図	担当	検印	設計日付	図面No.
					1階平面図 (改修前・改修後)	1/200 (A2枠)	島崎 久	浅井		2025・05	M-07

(A3は70%出力)

機材名	指定品	機材名	指定品	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名		
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気 （株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）				
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業ｼｽﾃﾑ T O A （株） ﾊﾞﾅｺﾆｯｸｺﾈｸﾄ（株）						
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 ｷｬﾋﾞﾆｰﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設 （株）				
配線器具類	J I S マーク表示品			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機 （株） （株）安川電機		上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの				
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機 （株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機 （株） （株）明 電 舎	太陽光発電装置	（株）イトウテック （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株）				
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）		山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株）				
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機 （株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎				
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ニ チ コ ン （株） 日 新 電 機 （株） 三 菱 電 機 （株） 利 昌 工 業 （株） ※1						
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			※1 モールドコンデンサに限る	高圧用変圧器	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク （株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株）※2 （株）東 光 高 岳 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機 （株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機 （株） （株）明 電 舎 利 昌 工 業 （株） ※2					
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの				※2 モールド変圧器に限る						
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの										
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの										
自動閉鎖装置	運動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの										
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの										
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの										
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの										
構内交換装置	（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品										
電 気 設 備 機 材 指 定 表								R060701			
工 事 名 長岡小学校職員室等空調機更新工事								E-02			
高 知 県 土 木 部 建 築 課											



記事	株式会社 シグマ設備設計室 高知市中泰泉寺42 TEL (088) 855-6005 FAX (088) 855-6015 一級建築士事務所 (高知県) 登録第1232号 一級建築士登録第385176号 浅井 佳苗	二級建築士登録 高知県 第5512号 島崎 博幸	工事名	長岡小学校職員室等空調機更新工事	図面内容	電気設備	縮尺	作図	担当	検印	設計日付	図面No.
						1階平面図 (改修前・改修後)	1/200 (A2枠)	浅井	浅井		2025・05	E-03

(A3は70%出力)